

KM-3650w

プリントサーバ

使用説明書

目次

1.	リモートウェブマネージャ	2
1.1.	リモートウェブマネージャ	3
1.1.1.	システム構成.....	3
1.1.2.	リモートウェブマネージャのログイン	3
2.	クライアントの準備	4
2.1.	動作確認.....	5
2.1.1.	リモートウェブマネージャとの接続.....	5
3.	リモートウェブマネージャの操作方法	8
3.1.	機能.....	10
3.1.1.	スプーラ (Spooler)	10
3.1.2.	デバイス (Device)	11
3.1.3.	ウェブクライアント (Web Client)	12
3.1.4.	フィルタ (Filter)	21
3.1.5.	オプション (Option) 設定	37
3.1.6.	ログ (Log)	46
3.1.7.	ユーザ (User)	48
3.1.8.	システム (System)	52
3.1.9.	スキャン (Scan)	58
4.	付録.....	63
4.1.	困ったときは.....	64
4.1.1.	故障かな?と思う前に	64
4.1.2.	プリンタから印刷できない	64
4.1.3.	リモートウェブマネージャが起動しない.....	65

1. リモートウェブマネー ジャ

1.1. リモートウェブマネージャ

リモートウェブマネージャはプリントサーバの操作、管理、構成および設定を監視するユーティリティです。プリントサーバに関連するすべての機能を操作することができます。

1.1.1. システム構成

リモートウェブマネージャを快適に使用するためには、次のハードウェアまたはシステム構成が必要です。

(1) Internet Explorer 6.0 SP1 の動作環境に準拠したハードウェアとシステム。

(2) Java ソフトウェアがインストールされている。

Java ソフトウェア(無料ダウンロード)をダウンロードして、インストールしてください。

SUN マイクロシステムズのウェブサイトからダウンロード可能です。

(<http://jp.sun.com/java/>)

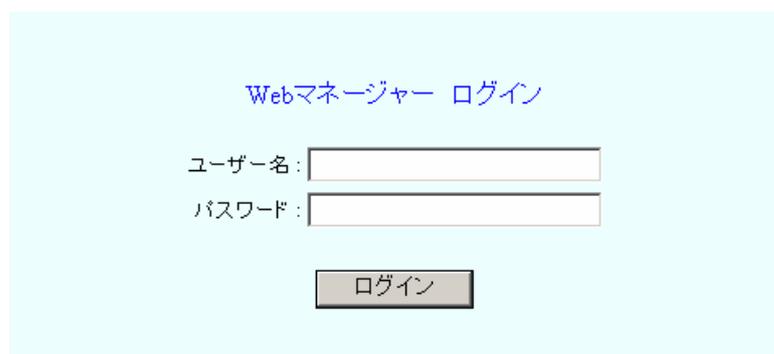
Java ソフトウェアがインストールされていないと、リモートウェブマネージャの画面が正しく表示されません。

(3) 解像度が 1024×768 ピクセル以上のディスプレイ。

1.1.2. リモートウェブマネージャのログイン

リモートウェブマネージャは、プリントサーバに登録しているユーザのみ観覧可能です。

そのため、リモートクライアントのウェブブラウザから接続したときは、最初にユーザを確認するためのログイン画面が常に表示されます。



Webマネージャ ログイン

ユーザー名:

パスワード:

ログイン

2. クライアントの準備

2.1. 動作確認

2.1.1. リモートウェブマネージャとの接続

ウェブブラウザを使って、リモートウェブマネージャと接続します。

(次に設定例を説明します。アドレスは例です。)

(1) Internet Explorer を起動してください。



ブラウザのインターネット一時ファイルを設定します。

ツール - インターネット オプションをクリックしてください。



全般タブの**設定**ボタンをクリックしてください。

ページを表示するごとに確認するを選択し、OK ボタンをクリックしてください。



インターネット オプションの OK ボタンをクリックして、ウィンドウを閉じてください。

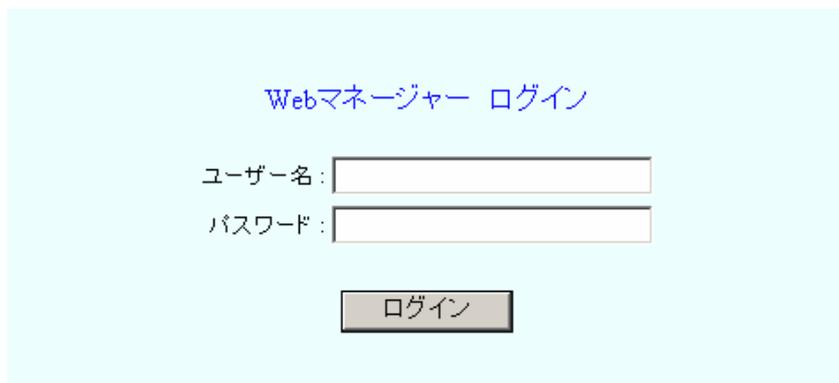
アドレスバーに http://サーバーのホスト名またはサーバーの IP アドレス を入力してください。

(2) 最初にブラウザからアクセスするときには、ユーザ確認画面が表示されます。ユーザ名とパスワードを入力してください。初期設定は、

ユーザ名 : administrator

パスワード : (ブランク)

です。ログインボタンをクリックしてください。



メイン設定画面が表示されます。

The screenshot shows the 'Remote Web Manager' interface. At the top, there are navigation tabs: Spooler (highlighted), Device, WebClient, Filter, Option, Log, User, System, and Scan. Below the tabs is a table with columns: 文書名 (Document Name), ステータス (Status), ユーザー (User), 機種名 (Device Name), ページ (Page), サイズ (Size), and 受付日時 (Received Time). The table is divided into sections: '印刷済' (Printed) with 5 rows of job data, '印刷準備中' (Preparing for print) with 3 empty rows, '一時停止' (Paused) with 3 empty rows, and 'エラー' (Error) with 3 empty rows. At the bottom, there is a status bar showing 'デバイス:ウォームスリープ' (Device: Warm Sleep) and buttons for 'スリープモード解除' (Wake up) and '更新' (Refresh).

文書名	ステータス	ユーザー	機種名	ページ	サイズ	受付日時
印刷済						
日本語.tif	印刷済	unknown	unknown	1	45.8(KB)	06/12/01 13:02:58
2006-12-01-2267	印刷済	test	unknown	1	45.8(KB)	06/12/01 13:07:48
test2 - Notepad	印刷済	QA	KM-3650wEN	1	109.4(KB)	06/12/01 13:16:11
日本語.tif	印刷済	administrator	unknown	1	45.8(KB)	06/12/01 13:35:49
日本語.tif	印刷済	Unknown	KM-3650wJP	1	45.8(KB)	06/12/01 13:39:34
印刷準備中						
一時停止						
エラー						
デバイス:ウォームスリープ						
						スリープモード解除
						更新

このページが、リモートウェブマネージャのメイン（ホーム）ページです。このページを Internet Explorer の「お気に入り」に登録しておくと、このメインページへ直接アクセスすることができます

以上の操作が問題なくできれば、リモートウェブマネージャの準備は完了です。

詳細については、次のリモートウェブマネージャの操作方法を参照してください。

3. リモートウェブマネージャの操作方法

リモートウェブマネージャで使用できる機能は、管理者としてログインするか、通常のユーザとしてログインするかによって異なります。管理者 (administrator) でログインした場合は、リモートウェブマネージャのすべての機能を使用することができます。

3.1. 機能

3.1.1. スプーラ (Spooler)



The screenshot shows the 'Remote Web Manager' interface with the 'Spooler' tab selected. The main area contains a table with columns for document name, status, user, printer name, page count, size, and reception time. The table is divided into sections: '印刷済' (Printed), '印刷準備中' (Preparing for printing), '一時停止' (Paused), and 'エラー' (Error). At the bottom, there is a status bar indicating 'デバイス:ウォームスリープ' (Device: Warm Sleep) and buttons for 'スリープモード解除' (Wake up) and '更新' (Refresh).

文書名	ステータス	ユーザー	機種名	ページ	サイズ	受付日時
印刷済						
日本語.tif	印刷済	unknown	unknown	1	45.8(KB)	06/12/01 13:02:58
2006-12-01-2267	印刷済	test	unknown	1	45.8(KB)	06/12/01 13:07:48
test2 - Notepad	印刷済	QA	KM-3650wEN	1	109.4(KB)	06/12/01 13:16:11
日本語.tif	印刷済	administrator	unknown	1	45.8(KB)	06/12/01 13:35:49
日本語.tif	印刷済	Unknown	KM-3650wJP	1	45.8(KB)	06/12/01 13:39:34
印刷準備中						
一時停止						
エラー						
デバイス:ウォームスリープ						
					スリープモード解除	更新

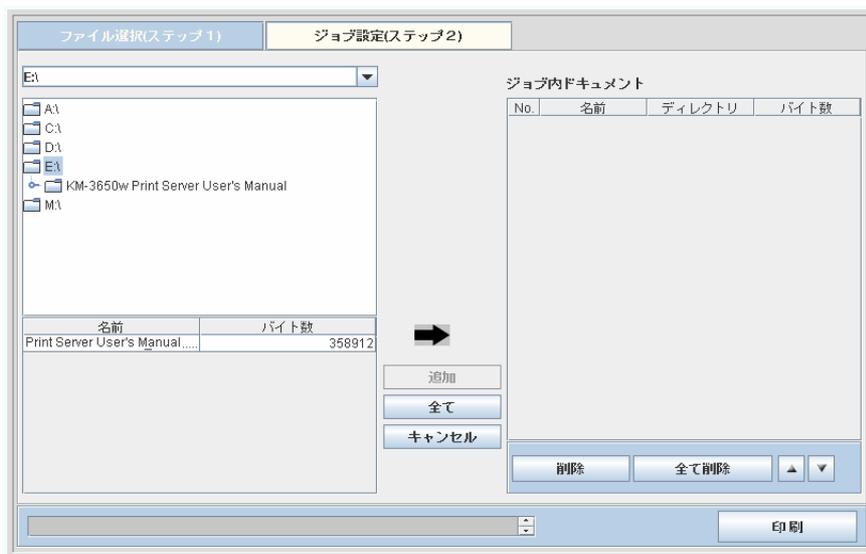
このメイン設定画面で、プリントジョブの状況を監視および管理します。管理者は、すべてのジョブの再印刷や削除といった操作が可能です。通常ユーザは、自分のジョブのみ操作が可能です。

- **印刷済キュー**
印刷したジョブのリストです。
ダブルクリックすると、そのジョブの詳細情報が表示されます。
- **印刷準備中キュー**
印刷待機中のジョブのリストです。
- **一時停止キュー**
一時停止中のジョブのリストです。

3.1.3. ウェブクライアント (Web Client)

ウェブクライアントを使って、複数の画像ファイルから構成されたプリントジョブを印刷できます。操作方法は、次のとおりです。

- 1) **ファイル選択 (ステップ1)** タブをクリックし、印刷ファイルを選択してください。画面の左側で印刷するファイルを選択し、**追加**ボタンをクリックしてください。プリントジョブがジョブ内ドキュメントに追加されます。



対応可能なファイル形式は、HPGL、Calcomp、TIFF、CALs、BMP および PDF (オプション) です。

- 2) **ジョブ設定 (ステップ2)** タブをクリックしてください。各項目は、次頁の設定項目を参照してください。



3) 印刷ボタンをクリックすると印刷が開始されます。

●設定項目の詳細

[全般設定]

全般設定 HPGL Calcomp 原寸補正

ジョブ数: 1

部単位印刷

濃度: 10

ヘッダー

設定

出力キュー: 印刷

印刷設定

出力サイズ: 倍率

枚数: 1

紙種: 普通紙

回転: 自動

給紙: 自動

定寸カット

ミラー

倍率

XY別設定

X: 400.0 % Y: 400.0 %

余白設定

先端: 0 mm

後端: 0 mm

画像位置

デフォルト

<ジョブ数>

ジョブ数を設定します。

<部単位印刷>

チェック有り 部単位で印刷する
チェック無し 部単位で印刷しない

<濃度>

画像濃度を設定します。

値を小さくすると画像は薄くなります。値を大きくすると画像は濃くなります。

1 - 13

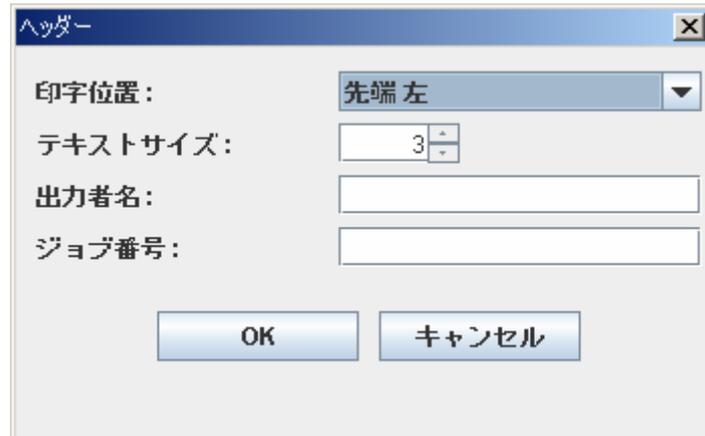
<ヘッダー>

ヘッダー印刷を設定すると用紙の先端または後端に次の情報が印刷されます。

印刷情報:

出力者名、ジョブ番号、ファイル名、日付/時間

ヘッダーにチェックを入れて、設定ボタンをクリックすると、次のヘッダーダイアログボックスが表示されます。必要事項を入力してください。



〈出力キュー〉

選択した印刷ジョブを印刷キューまたは一時停止キューに送ります。

〈出力サイズ〉

通常はオリジナルを選択してください。

オリジナル

倍率

(オプション設定の用紙単位でメートル仕様を選択しているときは、次のサイズが表示されます。)

A0、A1、A2、A3、A4、24×36、36×48

(オプション設定の用紙単位で Inch を選択しているときは、次のサイズが表示されます。)

ANSI-A (8.5×11)、ANSI-B (11×17)、ANSI-C (17×22)、

ANSI-D (22×34)、ANSI-E (34×44)、ARCH-A (9×12)、

ARCH-B (12×18)、ARCH-C (18×24)、ARCH-D (24×36)、

ARCH-E (36×48)、30×42

〈枚数〉

印刷枚数を設定します。

1 - 999

〈紙種〉

用紙の種類を選択します。

普通紙

第2原図

フィルム

指定無し

<回転>

印刷の向きを選択します。

自動

0

90

180

270

<給紙>

給紙元を選択します。

自動

給紙 1

給紙 2

手差し

<定寸カット>

用紙のカットモードを選択します。

チェック有り 定寸カット

チェック無し シンクロカット

<ミラー>

鏡像を設定します。

<倍率>

倍率を設定します。

X、Yそれぞれに倍率を設定する時は、XY別設定にチェックを入れて設定してください。

<余白設定>

印刷する用紙の先端および後端に余白を設定します。

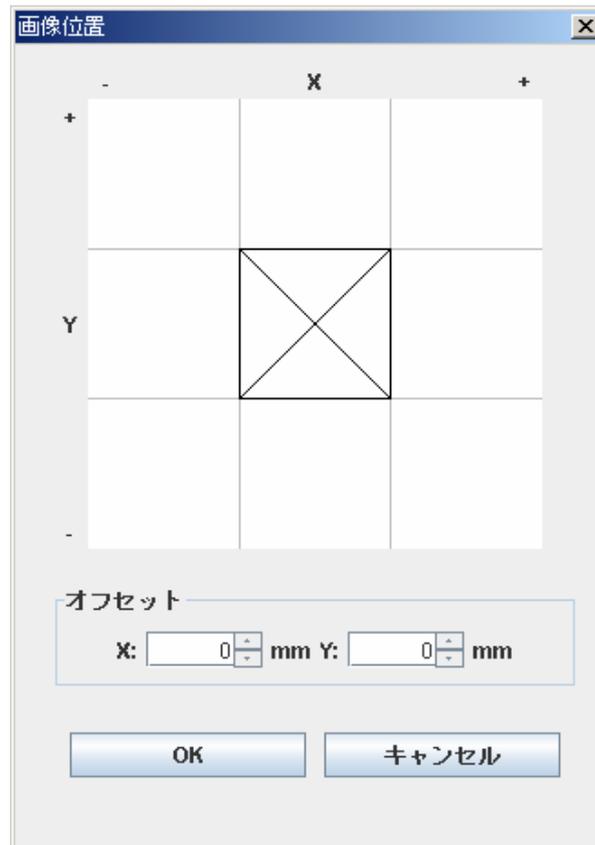
先端 0 から 500 mm

後端 0 から 500 mm

<画像位置>

画像を中央に配置しない場合に設定します。

画像位置 ボタンをクリックすると、次の**画像位置**ダイアログボックスが表示されます。



画像位置は、上記の9箇所から選択できます。

画像位置の微調整が必要なときは、オフセットのXとYに移動する値を入力してください。

Xにプラスの数値を設定すると、画像が右側に移動します。

(-500から500)

Xにマイナスの数値を設定すると、画像が左側に移動します。

(-500から500)

Yにプラスの数値を設定すると、画像が上側に移動します。

(-500から500)

Yにマイナスの数値を設定すると、画像が下側に移動します。

(-500から500)

[HPGL]

全般設定 **HPGL** Calcomp 原寸補正

ペン幅モード: ファイル設定値使用 ユーザ指定

グレー率モード: ファイル設定値使用 ユーザ指定

ペン管理

ペン情報を管理します

RTLラスター濃度:

クリッピングを有効にする

ペンスケールを有効にする

SP及びSP0で用紙の排出を行う

ペンNo.	ペンサイズ	グレー率
1	0.25mm	100%
2	0.25mm	100%
3	0.25mm	100%
4	0.25mm	100%
5	0.25mm	100%
6	0.25mm	100%
7	0.25mm	100%
8	0.25mm	100%
9	0.25mm	100%

ペンNo. ペンサイズ mm グレー率 %

〈ペン幅モード〉/〈グレー率モード〉

ファイル設定値使用を選択すると、ファイルで指定されたペン幅とグレー率の値が有効になります。

ユーザ指定を選択すると、ペン幅とグレー率の数値は次の設定が有効になります。

・ペンサイズ

ユーザ指定を選択すると、指定したペンサイズの数値が有効になります。

・グレー率

ユーザ指定を選択すると、指定したグレー率の数値が有効になります。

・ペン管理

読み: 保存されているペン設定を読み込みます。

保存: ペン設定を保存します。

〈RTL ラスター濃度〉

HPGL RTL 画像の濃度を調節します。

ただし、RTL 画像データが多値画像の場合だけ有効です。

〈クリッピングを有効にする〉

チェックすると、HPGL PS コマンドの値が画像のサイズになります。

チェックをはずすと、画像の最小値から最大値までが画像のサイズになります。

〈ペンスケールを有効にする〉

印刷サイズを拡大/縮小すると、ペン幅も拡大/縮小します。

チェックをはずすと、印刷サイズを拡大/縮小しても、ペン幅は変わりません。

〈SP 及び SP0 で用紙の排出を行う〉

複数の画像がファイルに含まれる場合、SP/SP0 コマンドを画像の境界として認識し、印刷します。

[Calcomp]

The screenshot shows the Calcomp software interface with the following settings:

- 全般設定 | HPGL | **Calcomp** | 原寸補正
- ペン幅モード: ファイル設定値使用 ユーザ指定
- グレー率モード: ファイル設定値使用 ユーザ指定
- ペン管理: ペン情報を管理します [読み] [保存]
- 同期設定: 自動検知, ダブルシンク, チェックサム
- シンクキャラクタ: 22
- エンドキャラクタ: 13
- ステップ: 800 steps/cm
- Table with 3 columns: ペンNo., ペンサイズ, グレー率

ペンNo.	ペンサイズ	グレー率
1	0.25mm	100%
2	0.25mm	100%
3	0.25mm	100%
4	0.25mm	100%
5	0.25mm	100%
6	0.25mm	100%
7	0.25mm	100%
8	0.25mm	100%
9	0.25mm	100%

At the bottom, there are input fields for Pen No., Pen Size (mm), and Gray Rate (%), along with buttons for [設定] and [デフォルト].

〈ペン幅モード〉/〈グレー率モード〉

ファイル設定値使用を選択すると、ファイルで指定されたペン幅とグレー率の値が有効になります。

ユーザ指定を選択すると、ペン幅とグレー率の数値は次の設定が有効になります

・ペンサイズ

ユーザ指定を選択すると、指定したペンサイズの数値が有効になります。

・グレー率

ユーザ指定を選択すると、指定したグレー率の数値が有効になります。

・ペン管理

読込：保存されているペン設定を読み込みます。

保存：ペン設定を保存します。

〈同期設定〉

同期方法を、自動検知または手動設定から選択します。

通常は自動検知をチェックしておいてください。

手動で **Calcomp** ファイルのヘッダーにある以下の項目の設定が可能です。

ダブルシンク

チェックサム

シンクキャラクタ

エンドキャラクタ

〈ステップ〉

ステップ数を設定して、画像サイズを変更します。

通常はステップ設定を 800 に設定してください。

[原寸補正]

全般設定 HPGL Calcomp 原寸補正

原寸補正を有効にする

普通紙

長さ 100 % 幅 100 %

第2原図

長さ 100 % 幅 100 %

フィルム

長さ 100 % 幅 100 %

用紙種類ごとに、X方向とY方向の倍率を設定します。

この設定で、用紙の伸縮による印刷位置のズレを補正することができます。

原寸補正を有効にするにチェックすると、用紙種類（普通紙/第2原図/フィルム）ごとに倍率が設定できるようになります。

X方向（幅）とY方向（長さ）それぞれの倍率を設定してください。

補正範囲は、90%から110%（0.01%単位）です。

3.1.4. フィルター (Filter)

3.1.4.1 FTP フィルターの設定

●印刷方法

FTP の使用方法および印刷方法

例

```
ftp "IP Address"
```

```
(Logon to ftp User Name: auto , Password: print )
```

```
bin
```

```
cd ftp01
```

```
put "File name"
```

対応可能なファイル形式は、HPGL、Calcomp、TIFF、CALs、BMP および PDF (オプション) です。

●設定項目の詳細

[全般設定]

The screenshot shows a software window titled "FTPフィルター" (FTP Filter) with a sub-tab "LPRフィルター". The window is divided into two main sections: "FTPフィルター" on the left and "LPRフィルター" on the right. The "FTPフィルター" section has a list of filter names from FTP1 to FTP16, with FTP1 selected. The "LPRフィルター" section has a "転送先ディレクトリ: ftp01" field and four tabs: "全般設定" (General Settings), "HPGL", "Calcomp", and "原寸補正". The "全般設定" tab is active, showing various settings for printing. The "印刷設定" (Print Settings) section includes: "出力サイズ" (Output Size) set to "オリジナル" (Original), "枚数" (Number of Copies) set to 1, "紙種" (Paper Type) set to "普通紙" (Standard Paper), "回転" (Rotation) set to "自動" (Automatic), and "給紙" (Paper Feeding) set to "自動" (Automatic). There are checkboxes for "定寸カット" (Trimmed) and "ミラー" (Mirror). The "倍率" (Scale) section has a checkbox for "XY別設定" (XY Separate) and fields for "X: 100.0 %" and "Y: 100.0 %". The "余白設定" (Margin Settings) section has checkboxes for "先端" (Front) and "後端" (Back) margins, both set to 0 mm. The "濃度" (Density) is set to 10. A "画像位置" (Image Position) button is located below the margin settings. At the bottom of the window are buttons for "設定値表示" (Show Settings), "キャンセル" (Cancel), and "登録" (Register).

〈出力サイズ〉

通常は**オリジナル**を選択してください。

オリジナル

倍率

(オプション設定の**用紙単位**で**メートル仕様**を選択しているときは、次のサイズが表示されます。)

A0、A1、A2、A3、A4、24×36、36×48

(オプション設定の**用紙単位**で**Inch**を選択しているときは、次のサイズが表示されます。)

ANSI-A (8.5×11)、ANSI-B (11×17)、ANSI-C (17×22)、

ANSI-D (22×34)、ANSI-E (34×44)、ARCH-A (9×12)、

ARCH-B (12×18)、ARCH-C (18×24)、ARCH-D (24×36)、

ARCH-E (36×48)、30×42

〈枚数〉

印刷枚数を設定します。

1 - 999

〈紙種〉

用紙の種類を選択します。

普通紙

第2原図

フィルム

指定無し

〈回転〉

印刷の向きを選択します。

自動

0

90

180

270

〈給紙〉

給紙元を選択します。

自動

給紙1

給紙2

手差し

〈倍率〉

倍率を設定します。

X、Yそれぞれに倍率を設定する時は、XY別設定にチェックを入れて設定してください。

〈定寸カット〉

用紙のカットモードを選択します。

チェック有り	定寸カット
チェック無し	シンクロカット

〈ミラー〉

鏡像を設定します。

〈余白設定〉

印刷する用紙の先端および後端に余白を設定します。

先端	0 から 500 mm
後端	0 から 500 mm

〈濃度〉

画像濃度を設定します。

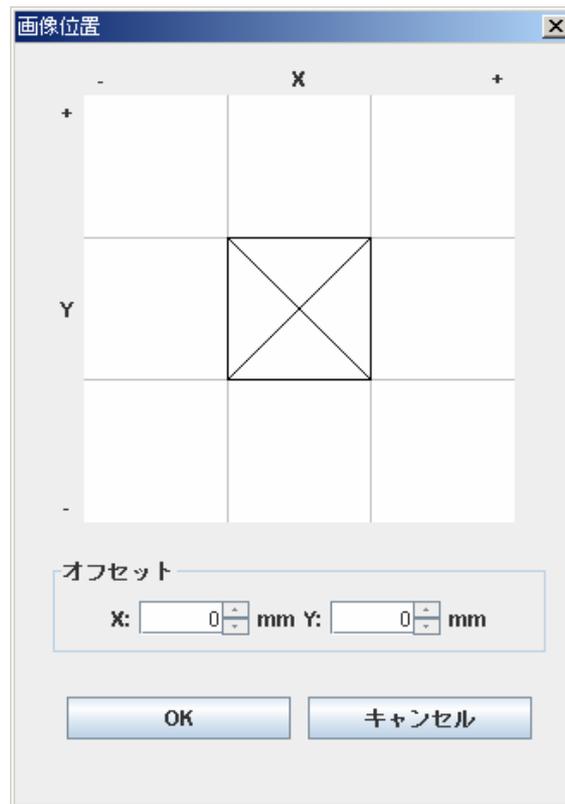
値を小さくすると画像は薄くなります。値を大きくすると画像は濃くなります。

1 - 13

〈画像位置〉

画像を中央に配置しない場合に設定します。

画像位置ボタンをクリックすると、次の**画像位置設定**ダイアログボックスが表示されます。



画像位置は、上記の9箇所から選択できます。

画像位置の微調整が必要なときは、オフセットのXとYに移動する値を入力してください。

Xにプラスの数値を設定すると、画像が右側に移動します。

(-500 から 500)

Xにマイナスの数値を設定すると、画像が左側に移動します。

(-500 から 500)

Yにプラスの数値を設定すると、画像が上側に移動します。

(-500 から 500)

Yにマイナスの数値を設定すると、画像が下側に移動します。

(-500 から 500)

参考：上記項目を変更したときは、登録ボタンをクリックしてください。登録ボタンをクリックしないと、変更が有効になりません。

[HPGL]

全般設定 HPGL Calcomp 原寸補正

ペン幅モード: ファイル設定値使用 ユーザ指定

グレー率モード: ファイル設定値使用 ユーザ指定

ペン管理

ペン情報を管理します 読込 保存

ペンNo.	ペンサイズ	グレー率
1	0.25mm	100%
2	0.25mm	100%
3	0.25mm	100%
4	0.25mm	100%
5	0.25mm	100%
6	0.25mm	100%
7	0.25mm	100%
8	0.25mm	100%
9	0.25mm	100%

ペンNo. ペンサイズ mm グレー率 %

設定 デフォルト

RTLラスター濃度:

クリッピングを有効にする

ペンスケールを有効にする

SP及びSP0で用紙の排出を行う

〈ペン幅モード〉/〈グレー率モード〉

ファイル設定値使用を選択すると、ファイルで指定されたペン幅とグレー率の値が有効になります。

ユーザ指定を選択すると、ペン幅とグレー率の数値は次の設定が有効になります。

・ペンサイズ

ユーザ指定を選択すると、指定したペンサイズの数値が有効になります。

・グレー率

ユーザ指定を選択すると、指定したグレー率の数値が有効になります。

・ペン管理

読込：保存されているペン設定を読み込みます。

保存：ペン設定を保存します。

〈RTL ラスター濃度〉

HPGL RTL 画像の濃度を調節します。

ただし、RTL 画像データが多値画像の場合のみ有効です。

〈クリッピングを有効にする〉

チェックすると、HPGL PS コマンドの値が画像のサイズになります。

チェックをはずすと、画像の最小値から最大値までが画像のサイズになります。

〈ペンスケールを有効にする〉

印刷サイズを拡大/縮小すると、ペン幅も拡大/縮小します。

チェックをはずすと、印刷サイズを拡大/縮小しても、ペン幅は変わりません。

〈SP 及び SP0 で用紙の排出を行う〉

複数の画像がファイルに含まれる場合、SP/SP0 コマンドを画像の境界として認識し、印刷します。

参考：上記項目を変更したときは、登録ボタンをクリックしてください。登録ボタンをクリックしないと、変更が有効になりません。

[Calcomp]

ペンNo.	ペンサイズ	グレー率
1	0.25mm	100%
2	0.25mm	100%
3	0.25mm	100%
4	0.25mm	100%
5	0.25mm	100%
6	0.25mm	100%
7	0.25mm	100%
8	0.25mm	100%
9	0.25mm	100%

〈ペン幅モード〉/〈グレー率モード〉

ファイル設定値使用を選択すると、ファイルで指定されたペン幅とグレー率の値が有効になります。

ユーザ指定を選択すると、ペン幅とグレー率の数値は次の設定が有効になります。

・ペンサイズ

ユーザ指定を選択すると、指定したペンサイズの数値が有効になります。

・グレー率

ユーザ指定を選択すると、指定したグレー率の数値が有効になります。

・ペン管理

読込：保存されているペン設定を読込みます。

保存：ペン設定を保存します。

〈同期設定〉

同期方法を、自動検知または手動設定から選択します。

通常は自動検知をチェックしておいてください。

手動で **Calcomp** ファイルのヘッダーにある以下の項目の設定が可能です。

ダブルシンク

チェックサム

シンクキャラクタ

エンドキャラクタ

〈ステップ〉

ステップ数を設定して、画像サイズを変更します。

通常はステップ設定を 800 に設定してください。

参考：上記項目を変更したときは、登録ボタンをクリックしてください。登録ボタンをクリックしないと、変更が有効になりません。

[原寸補正]

The screenshot shows a software interface for 'Original Size Correction' (原寸補正). At the top, there are four tabs: '全般設定' (General Settings), 'HPGL', 'Calcomp', and '原寸補正' (Original Size Correction). The '原寸補正' tab is active. Below the tabs, there is a checkbox labeled '原寸補正を有効にする' (Enable original size correction), which is checked. Underneath, there are three sections for different paper types: '普通紙' (Standard Paper), '第2原図' (2nd Original), and 'フィルム' (Film). Each section contains two input fields: '長さ' (Length) and '幅' (Width). In all three sections, both the length and width are set to 100%.

用紙種類ごとに、X方向とY方向の倍率を設定します。

この設定で、用紙の伸縮による印刷位置のズレを補正することができます。

原寸補正を有効にするにチェックすると、用紙種類（普通紙/第2原図/フィルム）ごとに倍率が設定できるようになります。

X方向（幅）とY方向（長さ）それぞれの倍率を設定してください。

補正範囲は、90%から110%（0.01%単位）です。

参考：上記項目を変更したときは、登録ボタンをクリックしてください。登録ボタンをクリックしないと、変更が有効になりません。

3.1.4.2 LPR 設定

●LPR の設定

標準設定

最大 16 件の登録を個別にすることができます。次の設定をすべて行った後、登録ボタンをクリックして、設定を登録してください。

設定の登録にはそれぞれ次のプリンタ名を使用してください。

登録	プリンタ名
1	lpr 01
2	lpr 02
3	lpr 03
4	lpr 04
5	lpr 05
6	lpr 06
7	lpr 07
8	lpr 08
9	lpr 09
10	lpr 10
11	lpr 11
12	lpr 12
13	lpr 13
14	lpr 14
15	lpr 15
16	lpr 16

例：

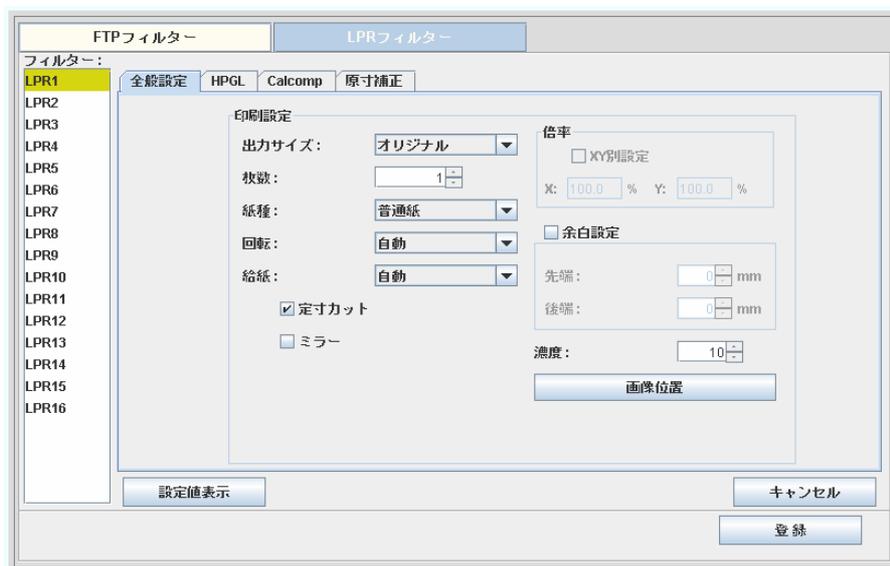
Windows OS から、登録 1 で印刷する場合：

```
[ lpr -S 192.168.100.10 -P lpr01 -o 1 (印刷ファイル名) ]
```

対応可能なファイル形式は、HPGL、Calcomp、TIFF、CALs、BMP および PDF（オプション）です。

●設定項目の詳細

[全般設定]



〈出力サイズ〉

通常はオリジナルを選択してください。

オリジナル

倍率

(オプション設定の用紙単位でメートル仕様を選択しているときは、次のサイズが表示されます。)

A0、A1、A2、A3、A4、24×36、36×48

(オプション設定の用紙単位で Inch を選択しているときは、次のサイズが表示されます。)

ANSI-A (8.5×11)、ANSI-B (11×17)、ANSI-C (17×22)、

ANSI-D (22×34)、ANSI-E (34×44)、ARCH-A (9×12)、

ARCH-B (12×18)、ARCH-C (18×24)、ARCH-D (24×36)、

ARCH-E (36×48)、30×42

〈枚数〉

印刷枚数を設定します。

1 - 999

〈紙種〉

用紙の種類を選択します。

普通紙

第2原図

フィルム

指定無し

〈回転〉

印刷の向きを選択します。

自動

0

90

180

270

〈給紙〉

給紙元を選択します。

自動

給紙 1

給紙 2

手差し

〈定寸カット〉

用紙のカットモードを選択します。

チェック有り 定寸カット

チェック無し シンクロカット

〈ミラー〉

鏡像を設定します。

〈倍率〉

倍率を設定します。

X、Yそれぞれに倍率を設定する時は、XY別設定にチェックを入れて設定してください。

〈余白設定〉

印刷する用紙の先端および後端に余白を設定します。

先端 0 から 500 mm

後端 0 から 500 mm

〈濃度〉

画像濃度を設定します。

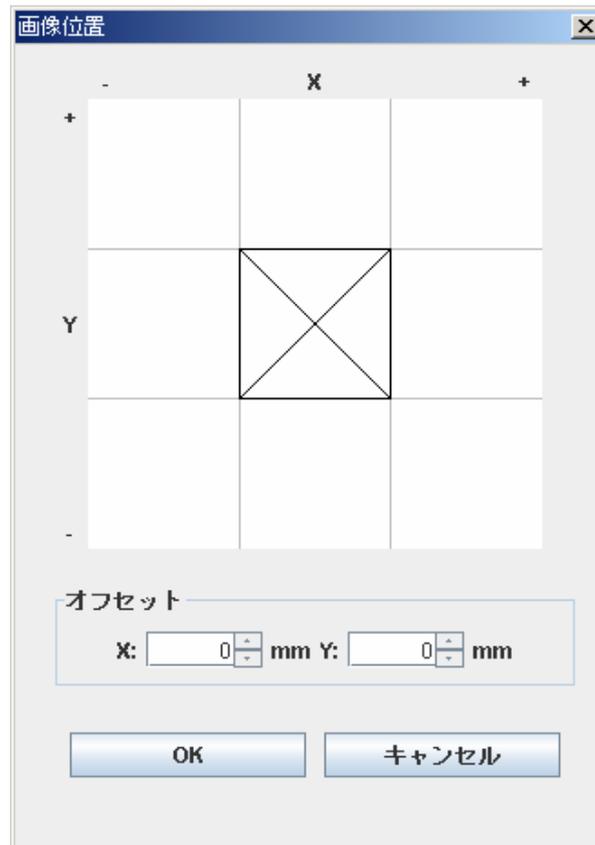
値を小さくすると画像は薄くなります。値を大きくすると画像は濃くなります。

1 - 13

〈画像位置〉

画像を中央に配置しない場合に設定します。

画像位置 ボタンをクリックすると、次の**画像位置**ダイアログボックスが表示されます。



画像位置は、上記の9箇所から選択できます。

画像位置の微調整が必要なときは、オフセットのXとYに移動する値を入力してください。

Xにプラスの数値を設定すると、画像が右側に移動します。

(-500から500)

Xにマイナスの数値を設定すると、画像が左側に移動します。

(-500から500)

Yにプラスの数値を設定すると、画像が上側に移動します。

(-500から500)

Yにマイナスの数値を設定すると、画像が下側に移動します。

(-500から500)

参考：上記項目を変更したときは、登録ボタンをクリックしてください。登録ボタンをクリックしないと、変更が有効になりません。

[HPGL]

ペンNo.	ペンサイズ	グレー率
1	0.25mm	100%
2	0.25mm	100%
3	0.25mm	100%
4	0.25mm	100%
5	0.25mm	100%
6	0.25mm	100%
7	0.25mm	100%
8	0.25mm	100%
9	0.25mm	100%

〈ペン幅モード〉/〈グレー率モード〉

ファイル設定値使用を選択すると、ファイルで指定されたペン幅とグレー率の値が有効になります。

ユーザ指定を選択すると、ペン幅とグレー率の数値は次の設定が有効になります。

・ペンサイズ

ユーザ指定を選択すると、指定したペンサイズの数値が有効になります。

・グレー率

ユーザ指定を選択すると、指定したグレー率の数値が有効になります。

・ペン管理

読込：保存されているペン設定を読み込みます。

保存：ペン設定を保存します。

〈RTL ラスター濃度〉

HPGL RTL 画像の濃度を調節します。

ただし、RTL 画像データが多値画像の場合のみ有効です。

〈クリッピングを有効にする〉

チェックすると、HPGL PS コマンドの値が画像のサイズになります。チェックをはずすと、画像の最小値から最大値までが画像のサイズになります。

〈ペンスケールを有効にする〉

印刷サイズを拡大/縮小すると、ペン幅も拡大/縮小します。

チェックをはずすと、印刷サイズを拡大/縮小しても、ペン幅は変わりません。

〈SP 及び SP0 で用紙の排出を行う〉

複数の画像がファイルに含まれる場合、SP/SP0 コマンドを画像の境界として認識し、印刷します。

参考：上記項目を変更したときは、登録ボタンをクリックしてください。登録ボタンをクリックしないと、変更が有効になりません。

[Calcomp]

ペンNo.	ペンサイズ	グレー率
1	0.25mm	100%
2	0.25mm	100%
3	0.25mm	100%
4	0.25mm	100%
5	0.25mm	100%
6	0.25mm	100%
7	0.25mm	100%
8	0.25mm	100%
9	0.25mm	100%

〈ペン幅モード〉/〈グレー率モード〉

ファイル設定値使用を選択すると、ファイルで指定されたペン幅とグレー率の値が有効になります。

ユーザ指定を選択すると、ペン幅とグレー率の数値は次の設定が有効になります。

・ペンサイズ

ユーザ指定を選択すると、指定したペンサイズの数値が有効になります。

・グレー率

ユーザ指定を選択すると、指定したグレー率の数値が有効になります。

・ペン管理

読込：保存されているペン設定を読込みます。

保存：ペン設定を保存します。

〈同期設定〉

同期方法を、自動検知または手動設定から選択します。

通常は自動検知をチェックしておいてください。

手動で **Calcomp** ファイルのヘッダーにある以下の項目の設定が可能です。

ダブルシンク

チェックサム

シンクキャラクタ

エンドキャラクタ

〈ステップ〉

ステップ数を設定して、画像サイズを変更します。

通常はステップ設定を 800 に設定してください。

参考：上記項目を変更したときは、登録ボタンをクリックしてください。登録ボタンをクリックしないと、変更が有効になりません。

[原寸補正]

The screenshot shows a software interface for 'Original Size Correction' (原寸補正). At the top, there are tabs for '全般設定', 'HPGL', 'Calcomp', and '原寸補正'. The '原寸補正' tab is active. Below the tabs, there is a checkbox labeled '原寸補正を有効にする' which is checked. Underneath, there are three sections: '普通紙' (Ordinary Paper), '第2原図' (2nd Original), and 'フィルム' (Film). Each section contains two input fields: '長さ' (Length) and '幅' (Width). In all three sections, both fields are set to '100%'.

用紙種類ごとに、X方向とY方向の倍率を設定します。

この設定で、用紙の伸縮による印刷位置のズレを補正することができます。

原寸補正を有効にするにチェックすると、用紙種類（普通紙/第2原図/フィルム）ごとに倍率が設定できるようになります。

X方向（幅）とY方向（長さ）それぞれの倍率を設定してください。

補正範囲は、90%から110%（0.01%単位）です。

参考：上記項目を変更したときは、登録ボタンをクリックしてください。登録ボタンをクリックしないと、変更が有効になりません。

3.1.5. オプション (Option) 設定

本機のオプション機能は、Option タブを選択して設定します。
管理者だけが、この設定を変更することができます。

[全般設定]

The screenshot shows the 'Option' settings window for a printer. The '全般設定' (General Settings) tab is active. The '機種名' (Machine Name) is set to 'KM-3650w'. The '用紙単位' (Paper Unit) is set to 'メートル仕様' (Metric). The '出力モード' (Output Mode) is set to 'モード2'. The 'トレランス' (Tolerance) is set to '5 mm'. The 'スクリーニング' (Screening) is set to '総数: 66 lpi' and '角度: 45°'. The '解像度変換' (Resolution Conversion) checkbox is unchecked. The '印刷設定' (Print Settings) section includes '枚数' (Copies) set to '1', '回転' (Rotation) set to '自動', and '給紙' (Feeding) set to '自動'. The '定寸カット' (Trimming) checkbox is checked, and the 'ミラー' (Mirror) checkbox is unchecked. The '余白設定' (Margin Settings) section is unchecked, with '先端' (Front Margin) and '後端' (Back Margin) both set to '0 mm'. The '濃度' (Density) is set to '10'. There is a button labeled '画像位置' (Image Position). At the bottom of the window are buttons for '設定値表示' (Show Settings), 'キャンセル' (Cancel), and '登録' (Apply).

〈機種名〉

使用するプリンタモデルを設定します。

〈用紙単位〉

用紙サイズの単位をメートル仕様または Inch から選択します。

〈出力モード〉

印刷モードを設定します。

- ・モード1： 画像と同じサイズ、または画像より大きいサイズの用紙に印刷します。

ただし、出力サイズに定形サイズを選択した場合は、
画像サイズ＝用紙サイズ でないと印刷しません。

用紙の優先順位：

1. 画像サイズ＝用紙サイズ
2. 画像サイズ<用紙サイズ

- ・モード 2： 画像と同じサイズ、または画像より大きいサイズの用紙に印刷します。

用紙の優先順位：

1. 画像サイズ＝用紙サイズ
2. 画像サイズ<用紙サイズ

- ・モード 3： セットされている用紙で画像を印刷します。

用紙の優先順位：

1. 画像サイズ＝用紙サイズ
2. 画像サイズ<用紙サイズ
3. 画像サイズ>用紙サイズ

〈トレランス〉

出力サイズが通常用の紙サイズより大きい場合でも、トレランスで設定した範囲内であれば、通常サイズの紙で出力することができます。

〈スクリーニング〉

グレー領域の印刷パターンを変更します。グリッドで描画されたグレー領域を、線数および角度により調整します。インチあたりの線数（lpi）と線の角度を変更することでグレーのパターンを変更します。

〈解像度変換〉

解像度が 600 dpi 以外の画像ファイルを出力する場合、チェックすると、画像を高画質で印刷することができます。ただし、印刷完了に要する時間が通常より長くなります。

〈枚数〉

印刷枚数を設定します。

1 - 999

〈回転〉

印刷の向きを選択します。

自動

0

90

180

270

〈給紙〉

給紙元を選択します。

- 自動
- 給紙 1
- 給紙 2
- 手差し

〈定寸カット〉

用紙のカットモードを選択します。

- チェック有り 定寸カット
- チェック無し シンクロカット

〈ミラー〉

鏡像を設定します。

〈濃度〉

画像濃度を設定します。

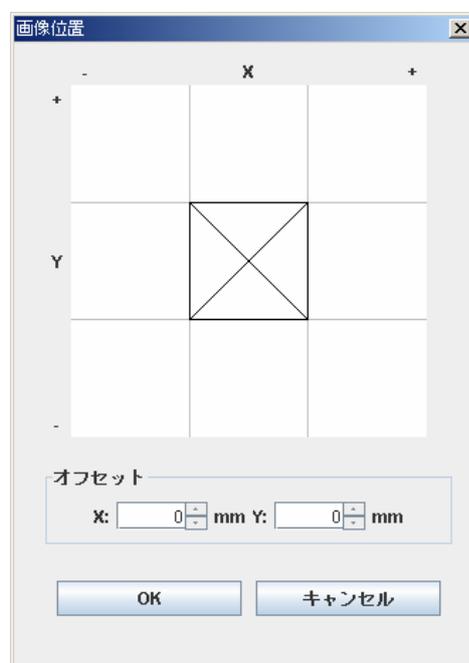
値を小さくすると画像は薄くなります。値を大きくすると画像は濃くなります。

1 - 13

〈画像位置〉

画像を中央に配置しない場合に設定します。

画像位置ボタンをクリックすると、次の画像位置ダイアログボックスが表示されます。



画像位置は、上記の 9 箇所から選択できます。

画像位置の微調整が必要なときは、オフセットの X と Y に移動する値を入力してください。

Xにプラスの数値を設定すると、画像が右側に移動します。

(-500 から 500)

Xにマイナスの数値を設定すると、画像が左側に移動します。

(-500 から 500)

Yにプラスの数値を設定すると、画像が上側に移動します。

(-500 から 500)

Yにマイナスの数値を設定すると、画像が下側に移動します。

(-500 から 500)

参考：上記項目を変更したときは、登録ボタンをクリックしてください。登録ボタンをクリックしないと、変更が有効になりません。

[HPGL]

全般設定 HPGL Calcomp 原寸補正

ペン幅モード: ファイル設定値使用 ユーザ指定
グレー率モード: ファイル設定値使用 ユーザ指定

RTLラスタースタ密度: 100

ペン管理
ペン情報を管理します 読込 保存

ペンNo.	ペンサイズ	グレー率
1	0.25mm	100%
2	0.25mm	100%
3	0.25mm	100%
4	0.25mm	100%
5	0.25mm	100%
6	0.25mm	100%
7	0.25mm	100%
8	0.25mm	100%
9	0.25mm	100%

ペンNo. ペンサイズ グレー率 設定
デフォルト

クリッピングを有効にする
 ペンスケールを有効にする
 SP及びSP0で用紙の排出を行う
 LAを有効にする
 MCを有効にする
 RPを有効にする

ハーフトーンスクリーン処理 (透過)
オフ

設定値表示 キャンセル 登録

設定項目

〈ペン幅モード〉/〈グレー率モード〉

ファイル設定値使用を選択すると、ファイルで指定されたペン幅とグレー率の値が有効になります

ユーザ指定を選択すると、ペン幅とグレー率の数値は次の設定が有効になります。

・ペンサイズ

ユーザ指定を選択すると、指定したペンサイズの数値が有効になります。

・グレー率

ユーザ指定を選択すると、指定したグレー率の数値が有効になります。

・ペン管理

読込：保存されているペン設定を読みみます。

保存：ペン設定を保存します。

〈RTL ラスタースタ密度〉

HPGL RTL 画像の濃度を調節します。

ただし、RTL 画像データが多値画像の場合のみ有効です。

〈クリッピングを有効にする〉

チェックすると、HPGL PS コマンドの値が画像のサイズになります。
チェックをはずすと、画像の最小値から最大値までが画像のサイズになります。

〈ペンスケールを有効にする〉

印刷サイズを拡大/縮小すると、ペン幅も拡大/縮小します。
チェックをはずすと、印刷サイズを拡大/縮小しても、ペン幅は変わりません。

〈SP 及び SP0 で用紙の排出を行う〉

複数の画像がファイルに含まれる場合、SP/SP0 コマンドを画像の境界として認識し、印刷します。

〈LA を有効にする〉

チェックすると、次のように線を処理します。

線の端部： 丸

線の結合： 丸い接点

〈MC を有効にする〉

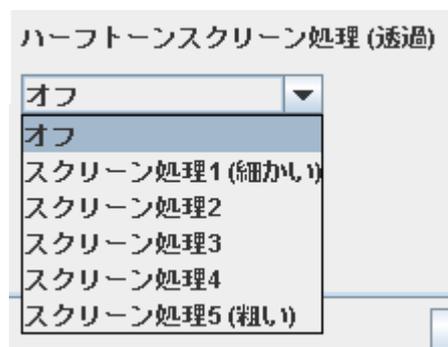
チェックすると、MC1 が有効になります。

〈RP を有効にする〉

本機では使用できません。

〈ハーフトーンスクリーン処理 (透過) 〉

この機能は、MC を有効にするをチェックすると有効になります。
スクリーン処理 1 (細かい) からスクリーン処理 5 (粗い) の間で最適なものを選択できます。
参考：現在の画像で問題ないときは、オフを選択してください。



参考：上記項目を変更したときは、登録ボタンをクリックしてください。登録ボタンをクリックしないと、変更が有効になりません。

[Calcomp]

ペンNo.	ペンサイズ	グレー率
1	0.25mm	100%
2	0.25mm	100%
3	0.25mm	100%
4	0.25mm	100%
5	0.25mm	100%
6	0.25mm	100%
7	0.25mm	100%
8	0.25mm	100%
9	0.25mm	100%

設定項目

〈ペン幅モード〉/〈グレー率モード〉

ファイル設定値使用を選択すると、ファイルで指定されたペン幅とグレー率の値が有効になります。

ユーザ指定を選択すると、ペン幅とグレー率の数値は次の設定が有効になります。

・ペンサイズ

ユーザ指定を選択すると、指定したペンサイズの数値が有効になります。

・グレー率

ユーザ指定を選択すると、指定したグレー率の数値が有効になります。

・ペン管理

読込：保存されているペン設定を読みみます。

保存：ペン設定を保存します。

〈同期設定〉

同期方法を、自動検知または手動設定から選択します。

通常は自動検知をチェックしておいてください。

手動で Calcomp ファイルのヘッダーにある以下の項目の設定が可能です。

ダブルシンク

チェックサム

シンクキャラクタ

エンドキャラクタ

〈ステップ〉

ステップ数を設定して、画像サイズを変更します。

通常はステップ設定を 800 に設定してください。

参考：上記項目を変更したときは、登録ボタンをクリックしてください。登録ボタンをクリックしないと、変更が有効になりません。

[原寸補正]

用紙種類ごとに、X方向とY方向の倍率を設定します。

この設定で、用紙の伸縮による印刷位置のズレを補正することができます。

設定項目

原寸補正を有効にするにチェックすると、用紙種類（普通紙/第2原図/フィルム）ごとに倍率が設定できるようになります。

X方向（幅）とY方向（長さ）それぞれの倍率を設定してください。

補正範囲は、90%から110%（0.01%単位）です。

参考：上記項目を変更したときは、登録ボタンをクリックしてください。登録ボタンをクリックしないと、変更が有効になりません。

3.1.6. ログ (Log)

アカウントログまたはシステムログを確認します。

●設定項目の詳細

[アカウントログ]

アカウントログ システムログ

取得

範囲指定:

すべて 日付指定

年 月 日

開始年月日: 2006 10 25

終了年月日: 2006 10 25

データ種別:

集計 ログ

ユーザー単位

グループ単位

ジョブ単位

取得方法:

表示 ダウンロード

実行

削除

集計:

すべて 指定日以前を削除

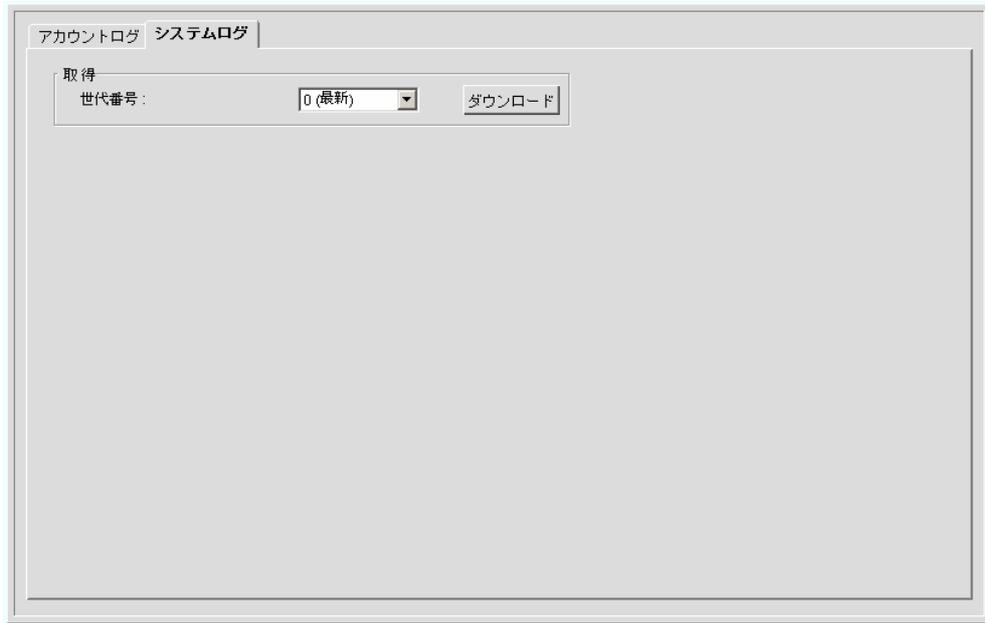
年 月 日

2006 10 25

削除

このアカウントログ設定では、アカウントログに登録されているアカウントの情報および値が表示されます。アカウントログの削除も可能です。

[システムログ]



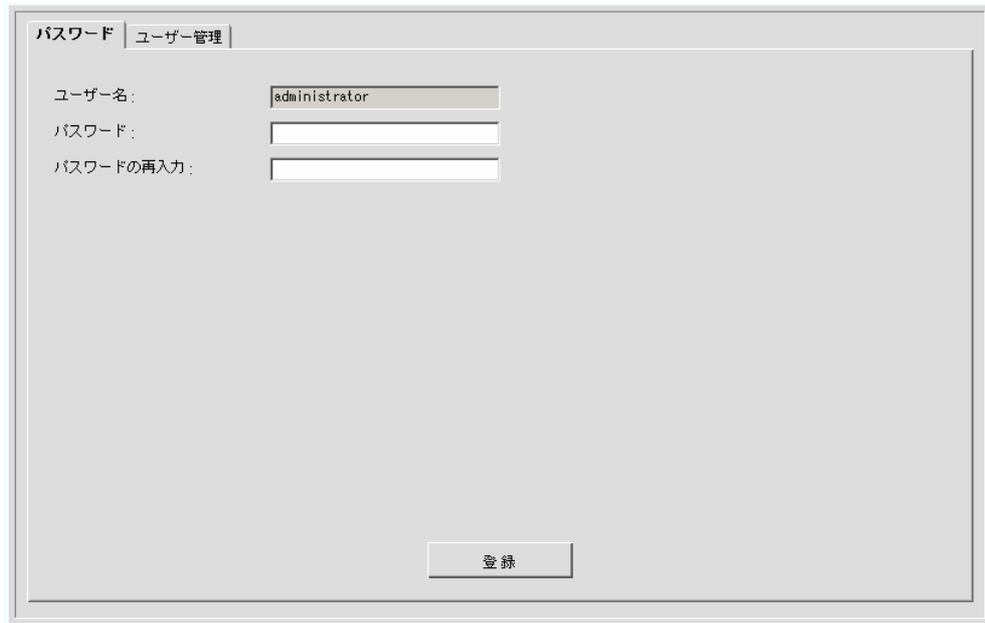
The screenshot shows a web interface with two tabs: 'アカウントログ' (Account Log) and 'システムログ' (System Log). The 'システムログ' tab is active. Below the tabs, there is a section labeled '取得' (Acquire) containing a label '世代番号:' (Generation Number:), a dropdown menu currently showing '0 (最新)' (0 (Latest)), and a button labeled 'ダウンロード' (Download). The main content area below is empty.

世代番号で最新のものから 8 番目までのシステムログのいずれかを選択します。
ダウンロードボタンをクリックすると選択したシステムログがダウンロードされます。

3.1.7. ユーザ (User)

●設定項目の詳細

[パスワード]



The screenshot shows a web interface with two tabs: "パスワード" (Password) and "ユーザー管理" (User Management). The "パスワード" tab is active. It contains three input fields: "ユーザー名:" (Username) with the value "administrator", "パスワード:" (Password), and "パスワードの再入力:" (Repeat Password). A "登録" (Register) button is located at the bottom center of the form area.

パスワードの変更ができます。

[ユーザー管理]

パスワード ユーザー管理

ユーザー管理:

ユーザー名	フルネーム	グループ名	説明	制限枚数 (n)	印刷済 (mm)	制限時間
administrator				無制限	0	無制限

ユーザーの追加
プロパティ
削除

グループ管理:

グループ名	説明	制限枚数 (mm)	印刷済 (mm)	制限時間

グループの追加
プロパティ
削除

〈ユーザーの追加〉

新しいユーザアカウントを作成します。ユーザーの追加ボタンをクリックすると、次のユーザー管理ダイアログボックスが表示されます。

※ユーザ名は、最大 20 文字で次の文字を除く大文字または小文字で登録できます：

/ ¥ [] : ; | = , + * ? < > ユーザ名はピリオド (.) やスペースだけの登録はできません。(最大 50 ユーザ)

ユーザー管理

ユーザーの追加

ユーザー名:

フルネーム:

グループ名:

説明:

パスワード:

制限枚数を設定する mm

印刷済: mm

制限時間

開始時刻:

終了時刻:

Java Applet Window

〈プロパティ〉

選択したユーザアカウントのプロパティが表示されます。

ユーザー管理

ユーザーの追加

ユーザー名: 管理者

フルネーム:

グループ名:

説明:

パスワード: *****

制限枚数を設定する 0 mm 年

印刷済: mm クリア

制限時間

開始時刻: 0:00

終了時刻: 0:00

登録 キャンセル

Java Applet Window

〈削除〉

選択したユーザアカウントを削除します。

※administrator は削除できません。

〈グループの追加〉

新しいグループアカウントを作成します。

グループの追加ボタンをクリックすると、次のグループ管理ダイアログボックスが表示されます。

グループ管理

グループの追加

グループ名:

説明:

制限枚数を設定する 0 mm 年

印刷済: mm クリア

制限時間

開始時刻: 0:00

終了時刻: 0:00

登録 キャンセル

Java Applet Window

〈プロパティ〉

選択したグループのプロパティが表示されます。

グループ管理

グループの追加

グループ名: デザイングループ

説明:

制限枚数を設定する 0 mm 年

印刷済: mm クリア

制限時間

開始時刻: 0:00

終了時刻: 0:00

登録 キャンセル

Java Applet Window

〈削除〉

選択したグループを削除します。

3.1.8. システム (System)

このシステムダイアログボックスで、プリントサーバのシステム管理に関するすべての機能を変更できます。
管理者のみ変更が可能です。

●設定項目の詳細

[サーバー操作]

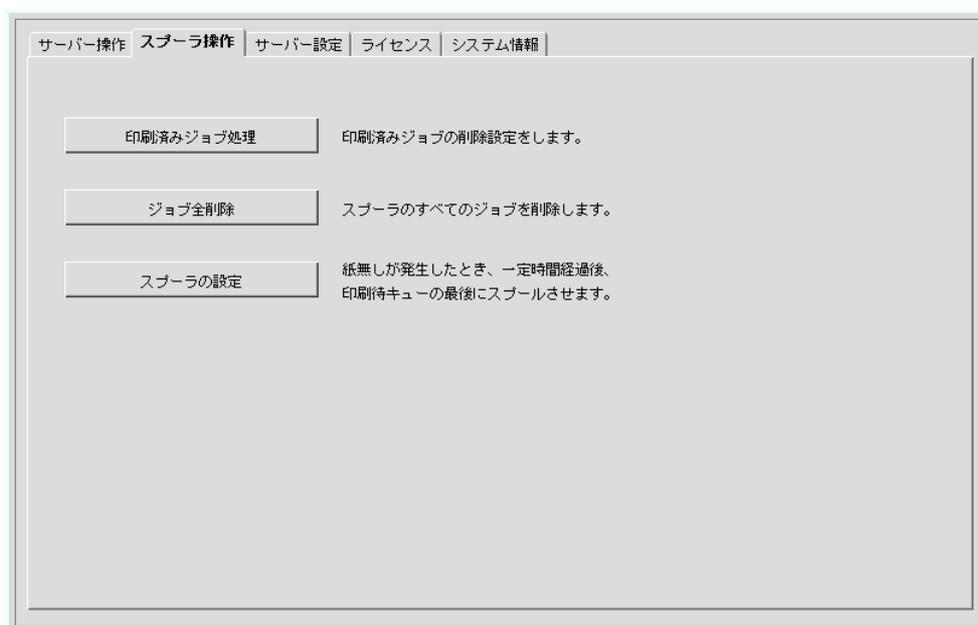


〈再起動〉

ブラウザからプリントサーバを再起動します。

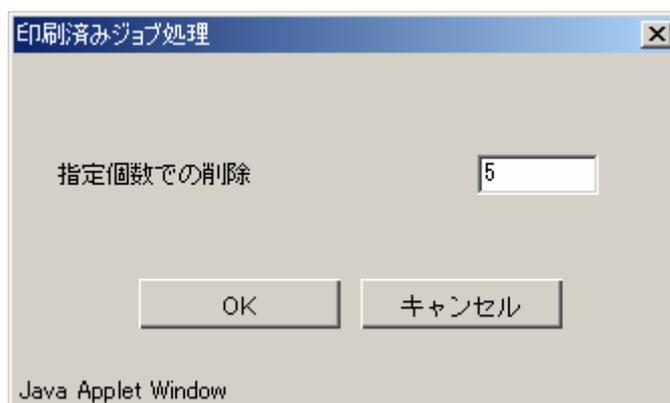
同時に、クライアントのブラウザも再起動する必要があります。

[スプーラ操作]



<印刷済みジョブ処理>

印刷キューのジョブ数があらかじめ指定した数以上になると、自動的にジョブを削除します。



<ジョブ全削除>

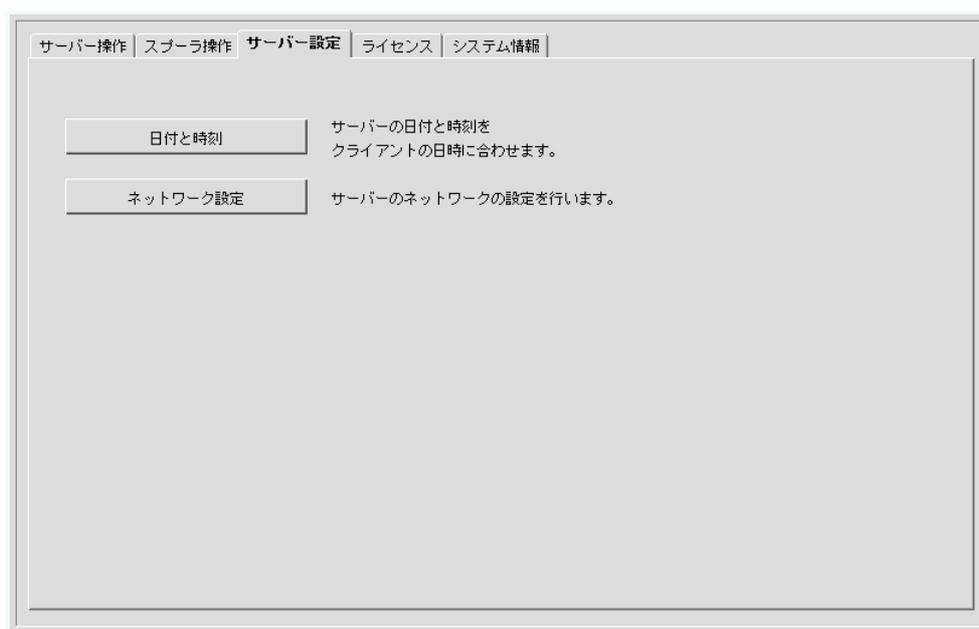
プリントサーバのスプーラに保存された、キューのデータをすべて削除します。

〈スプーラの設定〉

「給紙」開始後、一定時間が経過すると、現在のジョブが待機中キューの最新のジョブとしてスプールされます。（設定しないと、現状のままジョブが中止されます。）



[サーバー設定]



〈日付と時刻〉

サーバの日付と時刻をクライアントと合わせます。

<ネットワーク設定>

サーバのネットワーク設定を行います。

- ・ コントローラ名称
- ・ DHCP サーバーを使用する
- ・ IP アドレス
- ・ サブネットマスク
- ・ ゲートウェイ
- ・ DNS サーバー

ネットワーク設定

コントローラ名称: XM-3850w

DHCPサーバーを使用する

IPアドレス: 130 . 12 . 70 . 189

サブネットマスク: 255 . 255 . 0 . 0

ゲートウェイ:

DNSサーバー: 130 . 12 . 70 . 1

OK キャンセル 初期値に戻す

Java Applet Window

[ライセンス]



ライセンス項目

KM-3650w

オプションライセンス項目

Scan System 1

PDF

[システム情報]

サーバー操作	スプーラ操作	サーバー設定	ライセンス	システム情報
--------	--------	--------	-------	--------

バージョン:	1.08.05
USBシリアル:	Y1387269608

<バージョン>

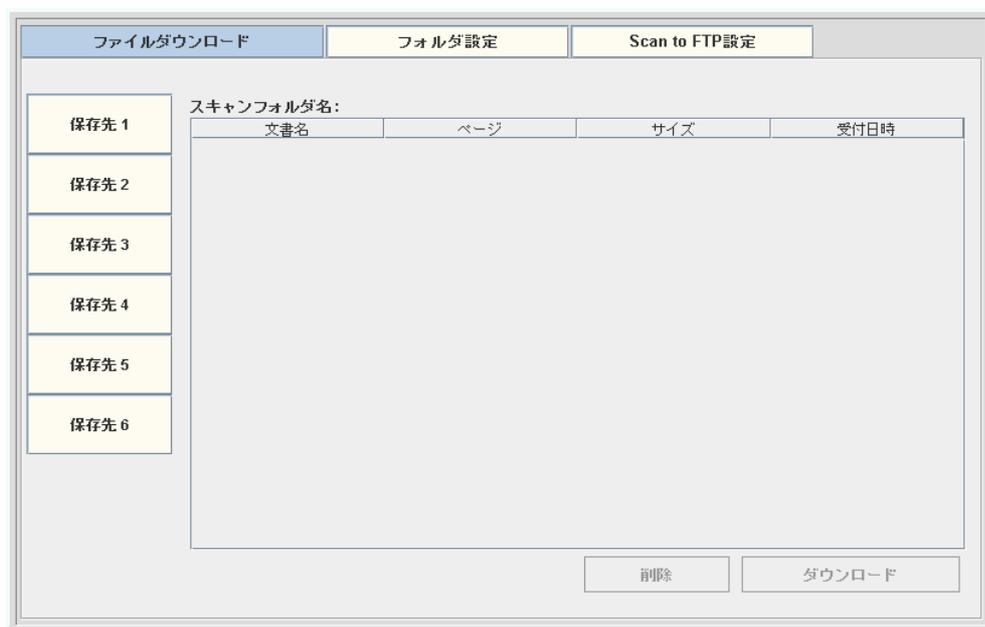
コントローラのバージョンを表示します。

3.1.9. スキャン (Scan)

この章では、スキャン画像をクライアントコンピュータにダウンロードする方法を説明します。

●設定項目の詳細

[ファイルダウンロード]



保存先	スキャンフォルダ名:
保存先 1	
保存先 2	
保存先 3	
保存先 4	
保存先 5	
保存先 6	

文書名	ページ	サイズ	受付日時
-----	-----	-----	------

ダウンロードする画像ファイルがあるフォルダを選択してください。

保存先 1 から 6 は、操作パネルの Scan Folder 1 から 6 に対応しています。

保存先 1 : Scan Folder 1

保存先 2 : Scan Folder 2

保存先 3 : Scan Folder 3

保存先 4 : Scan Folder 4

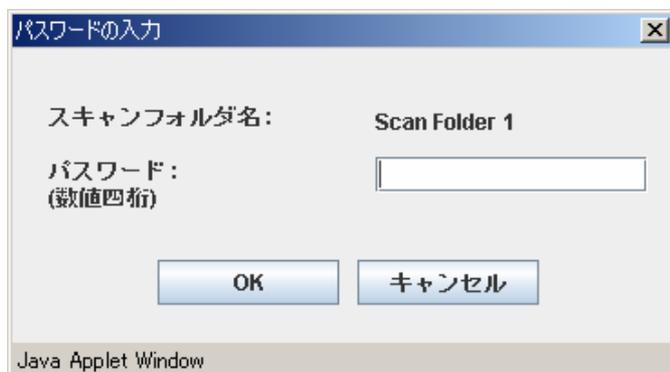
保存先 5 : Scan Folder 5

保存先 6 : Scan Folder 6

Scan Folder を開くためには、パスワードが必要です。

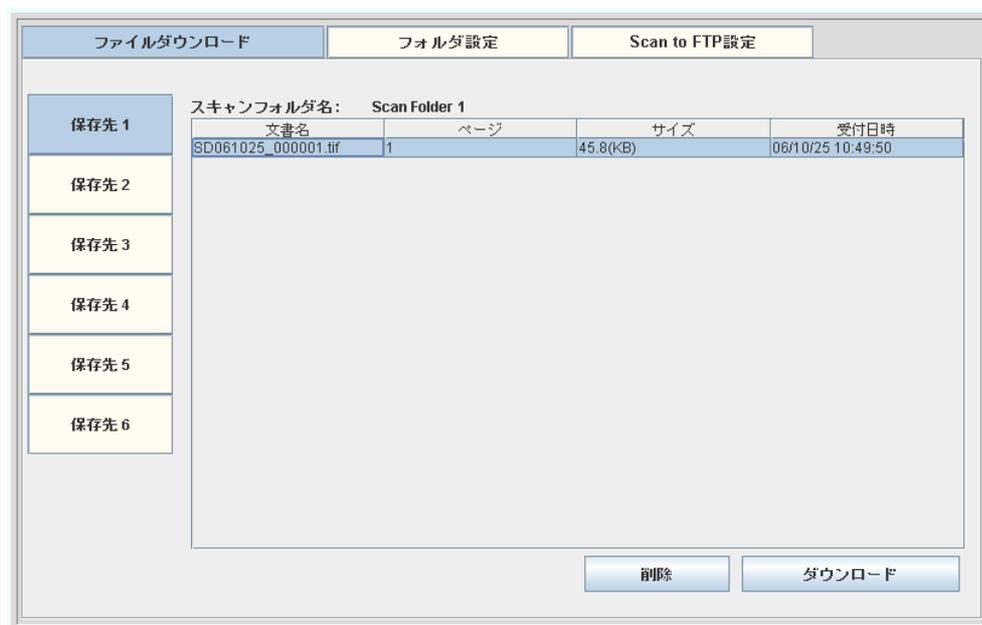
次の画面でパスワードを入力してください。

(パスワードの初期値は「0000」です)



パスワードの入力画面。タイトルは「パスワードの入力」。スキャンフォルダ名は「Scan Folder 1」で表示されています。パスワード欄には「(数値四桁)」と表示されています。下部には「OK」と「キャンセル」のボタンがあります。最下部には「Java Applet Window」と表示されています。

画像ファイルがリストに表示されます。



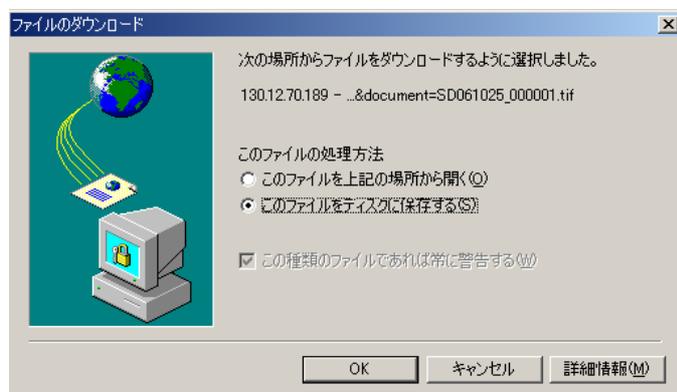
ファイルダウンロード画面。タブは「ファイルダウンロード」、「フォルダ設定」、「Scan to FTP設定」があります。スキャンフォルダ名は「Scan Folder 1」です。左側には「保存先 1」から「保存先 6」のリストがあります。中央にはファイルリストが表示されています。

文書名	ページ	サイズ	受付日時
SD061025_000001.tif	1	45.8(kB)	06/10/25 10:49:50

右下には「削除」と「ダウンロード」のボタンがあります。

ファイルを選択し、ダウンロードボタンをクリックしてください。

次の画面が表示されたら、このファイルをディスクに保存するを選択して、OK ボタンをクリックしてください。



ファイル名と保存先は変更することができます。

2つ以上のファイルを一度に選択することができます。

この場合、ファイルはまとめて ZIP ファイルに圧縮されます。

画像ファイルは 72 時間本機に保存され、その後削除されます。

[フォルダ設定]

ファイルダウンロード フォルダ設定 Scan to FTP設定

保存先 1
保存先 2
保存先 3
保存先 4
保存先 5
保存先 6

スキャンフォルダ名: Scan Folder 1

スキャンフォルダ参照時にパスワードの要求をする
 スキャン時にパスワードの要求をする

パスワードの設定

登録 キャンセル

スキャンフォルダ名は変更することができます。(最大 16 文字)

スキャンフォルダ参照時にパスワードの要求をするにチェックをすると、スキャンフォルダを参照する際にパスワードの要求があります。

スキャン時にパスワードの要求をするにチェックをすると、スキャンする際にパスワードの要求があります。

操作パネルのテンキーでパスワードを入力し、[設定] キーを押してください。

パスワードを変更するときは、パスワードの設定ボタンをクリックします。

参考：上記項目を変更したときは、登録ボタンをクリックしてください。登録ボタンをクリックしないと、変更が有効になりません。

[Scan to FTP 設定]

ファイルダウンロード フォルダ設定 Scan to FTP 設定

送信先 7

送信先 8

表示名: FTP-1 (半角12文字以内)

スキャン時にパスワードの要求をする パスワードの設定

送信先の設定

FTPサーバーのIPアドレス 0 0 0 0

FTPサーバーのホスト名 _____

パス: /

ポート番号: 21

パッシブモード

ログイン設定

匿名ログイン

ユーザー名: _____

パスワード: _____

登録 キャンセル

FTP 送信の送信先を選択してください。

送信先 7 と 8 は、FTP フォルダ名の **FTP 1 と 2** に対応しています。
FTP フォルダ名は変更することができます。(最大 12 文字)

スキャン時にパスワードの要求をする にチェックを入れて、設定してください。

パスワードを変更するときは、**パスワードの設定** ボタンをクリックします。

送信パスについて

サブディレクトリを指定する場合は以下の例のように、各フォルダの区切りはスラッシュ(/)を使用してください。

例) /scanfile/technical/service/

参考 : 上記項目を変更したときは、**登録** ボタンをクリックしてください。**登録** ボタンをクリックしないと、変更が有効になりません。

4. 付録

4.1. 困ったときは

4.1.1. 故障かな？と思う前に

- 使用説明書をお読みいただき、関連する項目のトラブルの内容を確認してください。
- 下記の該当する項目を選択し、正しく動作しているか確認してください。

4.1.2. プリンタから印刷できない

プリンタから印刷できない場合の主な原因：

- プリントサーバが起動していない。
- プリントサーバとクライアントの間のネットワークで物理的な障害が発生している。
- プリントサーバとクライアントの間のネットワークで論理的な障害が発生している。
- クライアントコンピュータで印刷設定が正しく設定されていない。

上記の場合、次のことを確認してください。

- (1) プリントサーバ経由でテスト印刷を行います。まず使用するプリンタが正常に動作していることを確認します。プリンタで正常に印刷できたら、次にプリントサーバとプリンタが正しく接続されていることを確認します。
- (2) ネットワークケーブルが正しく接続されていることを確認します。それまで問題なく印刷されていた場合は、プリントサーバとクライアント間のネットワーク接続に問題がある可能性があります。最初にネットワークが物理的に問題なく接続されていることを確認します。ハブの周辺やネットワーク関連機器のケーブルが正しく接続され、電源が供給されていることを確認してください。
- (3) ネットワークの状態が正常であることを確認します。物理的に正常に接続されている場合は、ネットワークの状態に問題がある可能性があります。使用しているプロトコル（TCP/IP、Apple Talk など）やプリントサーバのネットワーク設定を確認してください。プリントサーバ経由で PING コマンドを送るなどして、プロッタとクライアントが正しく接続されていることを確認してください。正しく接続されているようであれば、プリントサーバとそれに接続しているプリンタがクライアントから認識できることを確認します。さらに別のクライアントから正しく印刷できるかどうか確認します。
- (4) プリンタドライバがインストールされていることを確認します。インストールされていないと、正しく設定できません。設定が正しい場合は、使用説明書にしたがい、個々のクライアントの設定を確認します。
- (5) 2 台以上プリンタがある場合は、プリントサーバが、クライアントが通常使用するプリンタに設定されていること、あるいはプリントサーバが使用禁止になっていないことを確認します。

4.1.3. リモートウェブマネージャが起動しない

リモートウェブマネージャが起動しない原因：

- プリントサーバが起動していない。
- プリントサーバとクライアントの間のネットワークで物理的な障害が発生している。
- プリントサーバとクライアントの間のネットワークで論理的な障害が発生している。
- プリントサーバのネットワーク設定が正しく設定されていない。
- クライアントコンピュータのネットワーク設定が正しく設定されていない。

上記の場合、次のことを確認してください。

- (1) ネットワークケーブルが正しく接続されていることを確認します。ネットワークが物理的に正しく接続されていることを確認します。ハブの周辺やネットワーク関連機器のケーブルが正しく接続され、電源が供給されていることを確認してください。
- (2) ネットワークの状態が正常であることを確認します。正常に接続されている場合は、ネットワークの状態に問題がある可能性があります。リモートウェブマネージャは、TCP/IP プロトコルを使用する Web ブラウザで動作しています。TCP/IP のインストール、IP アドレス、ゲートウェイ、サブネットマスク、などクライアントの TCP/IP 設定が正しいかどうか、ネットワーク管理者に確認してください。
- (3) Web ブラウザが Internet Explorer 6.0 SP1 であることを確認してください。リモートウェブマネージャは Internet Explorer 6.0 SP1 以降での動作が保証されています。それ以外のブラウザの場合は、正しい表示が行われない場合があります。

プリントサーバ使用説明書

2006.11 Rev. 1.0

本資料の全部又は一部を無断で複写複製（コピー）することは著作権法上での例外を除き、禁じられています。